SCIEX OS 2.2 リリースノート

はじめに

ご利用のシステムの OS として、SCIEX をお選びいただきありがとうございます。以下のシステムをサポートする SCIEX OS 2.2 ソフトウェアをお届けします。

- ZenoTOF 7600 システム
- X500R QTOF および X500B QTOF システム
- SCIEX 7500 システム
- SCIEX Triple Quad 4500、5500、5500+、6500、および 6500+ システム

注: QTRAP システムはサポートされていません。

- Echo MS システム。これには、SCIEX Triple Quad 6500+システムと Echo MS モジュールが含まれています。

SCIEX OS 2.2 では、トリプル四重極、QTRAP、および Analyst や Analyst TF ソフトウェアを操作する TripleTOFAnalyst ソフトウェアのバージョン 1.6.2 以上、または Analyst TF ソフトウェアバージョン 1.7.1 以上をサポートしています。

本ドキュメントでは、ソフトウェアの機能について説明しています。ソフトウェアをご利用になる際の参照用として、このリリースノートを常にお手元に保管してください。

バージョン 2.2 の新機能

本項では、SCIEX OS 2.2 の強化と修正について説明します。過去にリリースされた SCIEX OS の強化と修正については、該当するバージョンのソフトウェアに付属する*『リリースノート』*を参照してください。

バージョン 2.2 での新しい機能と改善点

- **SCIEX Triple Quad システムのサポート**:このソフトウェアは、SCIEX Triple Quad 4500、5500、5500 +、6500、および 6500+システムをサポートします。
- **ユーザー管理設定のエクスポートとインポート**: SCIEX OS ユーザーデータベースは、1 台の SCIEX コンピュータにエクスポートしてから、別のコンピュータにインポートできます。この機能を使用すると、1 台のコンピュータで構成を変更してから、ラボ内の他のコンピュータにデータを入力できます。

  注: (規制対象のお客様)ソフトウェアの検証後にユーザー管理設定をインポートする場合は、内部の変更管理プロセスに従って構成の変更を文書化することをお勧めします。

- **複数の MS メソッド**:ユーザーは、MS Method ワークスペースで複数の MS メソッドを開くことができます。

- **Batch ワークスペースでのカスタム列**:ユーザーは、Batch ワークスペースでカスタム列を作成し、数式や計算列などの処理で使用できるようにすることができます。

  注: ラボ情報管理システム(LIMS)からカスタムカラムを含むバッチにデータをインポートすることはできません。

- **Data Acquisition ウィンドウのフラグメンテーションモード**:SCIEX OS が ZenoTOF 7600 システムからデータを取得する場合、Data Acquisition ペインのグラフタイトルには、メソッドで設定されたフラグメンテーションモードが表示されます。
- **変数 SWATH ウィンドウのインポート**:ユーザーはテキストファイルから変数 SWATH ウィンドウをインポートできるようになりました。
- **自動化バッチの結果を保存**:この新しい権限により、Batch ワークスペースで自動的に作成された結果テーブルを保存できます。
- **QJetX500 QTOF システムの RF 振幅**: ユーザーは X500 QTOF システムの **QJet RF amplitude** パラメータを手動でオーバーライドできます。

  注: ユーザーが以前のバージョンの SCIEX OS で作成された MS メソッドを開くと、**Override QJet RF** 値と **QJet RF amplitude** パラメータが公開されます。パラメータはデフォルト値に設定されています。(ONYX-15939)

- **新しいレポーターソフトウェアフィールド**:これらの新しいフィールドは、レポーターソフトウェアテンプレートで使用できます。
  - StdAdd_ActualConcentration
  - StdAddn_CalculatedConcentration
  - StdAddn_Accuracy
  - StdAddn_CalibrationCurve
  - Report_Created_By
  - ISMSMSPeak

バージョン 2.2 の解決済みの問題

MS Method ワークスペース

- ユーザーが MS メソッドのマステーブルを編集しているときに、**Delete** キーが機能しませんでした。(ONYX-7384)

Batch ワークスペース

- ネットワーク上の場所からバッチファイルをインポートできませんでした。(BLT-3147)
- Decision Rule Configuration ダイアログで、処理方法が選択された場合、**Flagging Rules** フィールドのリストには、処理メソッドで定義されたが適用されていない複合フラグ設定ルールが含まれている場合があります。つまり、**Apply Rule** チェックボックスは選択されていません。(ONYX-8352)

Queue ワークスペース

- SCIEX OS は、ネットワークリソース上の wiff ファイルにデータを追加できない場合があります。(ONYX-11437)

MS Tune ワークスペース

- 以前のバージョンの SCIEX OS に保存された機器設定を復元できませんでした。(BLT-2722)

Analytics ワークスペース

- 処理メソッドの Components ページのテーブル設定で、**Mass (Da) and Width (ppm)**を表示するように設定すると、エラーが表示されました。(MQ-7709)
- 表の表示設定（cset）ファイルをインポートすると、**Component Name** の列が表の右側近くに移動した。(BLT-2564)
- 数式エディタは、ブール演算子に続く構文エラーを識別しませんでした。
- 結果テーブルがテキストファイルにエクスポートされたとき、日付形式が選択した地域形式ではありませんでした。(BLT-2314)
- **Comment** 列が、Processing Method Editor の Components ページのコンポーネントテーブルに追加されました。(BLT-2726)
- 多荷電種をテキストメソッドから Processing Method Editor の Components ページにインポートできませんでした。(BLT-2745)
- 使用された列が計算列の場合、手動積分後にメトリックプロットが自動的に更新されませんでした。(BLT-2822)
- 結果テーブルの **Sample Name** 列は、LIS へのエクスポートに対応するために移動できませんでした。(BLT-2852)
- 現在表示されている **XIC Width** 列のみがエクスポートされました。(BLT-2874)
- Formula Finder および ChemSpider ワークフローの場合、負に帯電した化合物の処理で誤った極性が使用されました。(BLT-2963)
- ピークが見つからなかったコンポーネントのレビュー中に、SCIEX OS が予期せず閉じました。(BLT-2976)
- 現在のデータに存在しない列名やセル値を含む数式を保存できないことがありました。(BLT-2991)
- SCIEX OS は、ユーザーが式を使用して高電荷イオンの Peak Review ペインを開いたときに予期せず閉じました。(BLT-2998)
- 許容値が変動するイオン比の場合、フラグ設定ルールで正しくフラグを立てられないことがありました。(BLT-3052)

報告者

- 新しいタグ Report_Created_By は、レポートを作成したユーザーの名前を示します。(BLT-1818)

- 分析試料の内部標準の MS/MS ピークは表示されませんでした。(BLT-2123)
- 個々のサンプル用に作成されたレポートには、QC サンプルに関する情報のみが含まれていました。(BLT-2661)
- メトリックプロットは、IF ステートメントなどのコントロール内にある場合は生成されませんでした。(BLT-2901)
- IF ステートメント内のコンポーネントグループ名とサンプル ID 列は、レポートで処理されませんでした。(BLT-2904)
- サンプルのシリアル番号はレポートに含まれていませんでした。(BLT-2931)
- Microsoft Office 365 から Microsoft 365 Apps に、または Microsoft Word 2016 から MicrosoftWord 2019 にアップグレードした後、生成されたレポートの一部のクロマトグラムは空でした。(BLT-3080)

Explorer ワークスペース

- **Copy Graph** コマンドでコピーされた XIC は低分解能でした。(BLT-2869)
- Analyst ソフトウェアにエクスポートするコマンドは、Explorer ワークスペースから削除されました。(BLT-2974)

監査マップ

- SCIEX OS は、Analyst ソフトウェアで作成されたプロジェクトにデフォルトの監査マップを適用しませんでした。(BLT-2833)
- ユーザーのログイン失敗は、監査証跡がそれらを記録するように構成されている場合、監査証跡に記録されませんでした。(BLT-2995)

装置

- ダイバーターバルブの Detailed Status ダイアログで、システムが平衡状態および負荷状態にあるときに **Time** 値が正しくありませんでした。(ONYX-7831)
- （Shimadzu LC-40 システム）50µL ループの場合、注入量を 50µL に設定できませんでした。(BLT-3024)
- （Agilent LC システム）[Detailed Status]ダイアログのポンプセクションに、A および B 溶媒ボトルが表示されませんでした。ユーザーは、どの溶媒が使用されているかを確認できませんでした。(BLT-2319)
- （Agilent G7167A マルチサンプラ）SCIEX OS は、G7167A マルチサンプラ用に定義されたカスタマイズされたウェルプレートをサポートしていませんでした。54 バイアルプレートの行と列のレイアウトをサポートするために、2 つの新しいプレートレイアウトが追加されました。（BLT-2389、BLT-2401）
- 一部の質量分析装置では、Event Log に表示されるファームウェアバージョンが正しくありませんでした。(BLT-2625)
- デバイスの有効化および MS Tune ワークスペースを開く際にパフォーマンスの低下の問題が発生しました。この問題は主に WatersAcquity LC で発生しましたが、他の LC デバイスでも発

生する可能性がありました。この修正は、SCIEX OS2.1.6 の速度低下問題のパッチにも含まれていました。(BLT-2957)

- 測定用コンピュータが顧客の LAN に接続されている場合、質量分析装置デバイスを有効化できませんでした。この修正は、SCIEX OS2.1.6 の通信低下問題のパッチにも含まれていました。（BLT-3007、BLT-3028、BLT-3066）
- マルチプレートサンプラーを備えた ExionLC システムの Batch ワークスペースで **Plate Layout** 機能が無効になりました。この修正は、Shimadzu Plate Layout 用の SCIEX OS 2.0.1 パッチにも含まれていました。(BLT-3061)

SCIEX 7500 システム

- 負の極性を使用した IDA 実験では、衝突エネルギー（CE）パラメータが正しく表示されませんでした。(ONYX-8566)
- 前述のすべてのステップを順番に完了しなかった場合、ステップ 5（衝突エネルギーの最適化）中にエラーが表示されました。(ONYX-8568)

Echo MS システム

- 列蛇行サンプリングシーケンスを使用すると、問題が発生する可能性があります。
  - 液滴キャプチャのドロップアウトレートが高くなり、再現性が低下するおそれがあります。
  - Y 軸に沿った持続的な進む/戻る動きから追加のロードが発生すると、やがては動作機構にストレスが生じるおそれがあります。

使用上の注意と既知の問題

使用上の注意

- （規制対象のお客様）ソフトウェアの検証後にユーザー管理設定をインポートする場合は、内部の変更管理プロセスに従って構成の変更を文書化することをお勧めします。
- ExionLC 2.0 システム：
  - 溶媒レベルの監視が使用されている場合は、現在のボリュームが正しいこと、および適切な警告レベルとシャットダウン レベルが各バッチ取得の前に Device Control または Device Details ダイアログで設定されていることを確認してください。移動相の補充のためにサンプル取得中に現在の容量を更新する必要がある場合は、Device Details ダイアログにあるポンプの溶媒レベルパネルを使用します。
  - サンプルトレイにサンプルをロードするときは、ソフトウェアのプレートレイアウトに従ってください。*ExionLC 2.0 システムハードウェアユーザーガイド*を参照してください。
  - Diode Array Detector（DAD または DAD-HS）は、Multiwavelength detector（MWD）と同時にデータ収集に使用することはできません。DAD と MWD の両方で LC システムを構成しないでください。
  - ExionLC 2.0 DAD （DAD または DAD-HS）、および MWD では、10Hz 以下のサンプリングレートのみがサポートされます。サンプリングレートが 10Hz 以上の LC メソッドは保存されません。

- DAD メソッドを作成する際には、3D データモードを選択していない場合でも、2D データチャンネルの波長および波長プログラムの波長が、3D データモードで定義された波長範囲内であることを確認してください。

- バッチが開始されると、SCIEX OS データを収集しない時に更新やウィルスのスキャニングを実施するように、スケジュールを設定してください。
- パフォーマンスの問題やデータの破損を防止するため、サンプル取得中にはデフラグやディスククリーンアップなど、コンピュータのメンテナンス手順を実行しないでください。
- Echo MS システム:
  - MS Method が作成されるとき、**Spray Voltage** デフォルトは 4500 V です。

    注: オープンポートフェイス(OPI)電極アセンブリの寿命を最大化するために、5000 V 以下の値を使用することをお勧めします。

  - ピークが狭いため、トランジションの数を最小化することをお勧めします。使用するトランジションの数を 4～6 にすることをお勧めします。
  - 複数のバッチでデータや結果のファイルに同じ名前を使用しないでください。それぞれの新しいバッチに使用するデータと結果のファイルは、必ず新しいものにしてください。
  - **Injection Volume**Batch ワークスペースの列に入力された値は、AE メソッドで指定された排出量に置き換わりません。
- ネットワーク取得中に ClearCore2 が中断されると、中断時に取得中のサンプルの一部のサンプルデータは、データファイルに書き込まれません。ローカル取得中にサービスが中断された場合、サンプルデータの一部がデータファイルに書き込まれますが、破損としてマークされます。ClearCore2 サービスが中断された場合、自動トリガー処理と決定ルール処理も失敗します。
- 次の方法により、ユーザーはネットワークリソースを取得しながら、Explorer ワークスペースでデータをリアルタイムで表示できます。
  - SCIEX OS ウィンドウ下部の Data Acquisition パネルを開きます。
  - Queue ワークスペースで、取得中のサンプルをダブルクリックして開きます。

  (DS-1873)

  注: サンプルが Explorer ワークスペースで開いたままの場合は、サンプルがネットワークリソースに移動した後に、「File not found」というメッセージが表示されます。

- データファイルは SCIEX OS2.2 で作成され、SCIEX OS バージョン 1.3.1 以前で取得されたデータファイルに追加することはできません。(DS-1931)
- カスタム列を含むデータは、SCIEX OS バージョン 2.1.6 以前で取得したデータファイルに追加することはできません。
- MultiQuant ソフトウェアファイル(qmethod、qsession、および cset)は、SCIEX OS の Analytics ワークスペースで開けることも使用することもできません。ただし、テキストファイルにエクスポートされた MultiQuant ソフトウェアメソッドは、Analytics ワークスペースにインポートできます。

- ターゲットを絞らないワークフローの場合、Results Tables は 150,000 行に制限する必要があります。SCIEX OS のパフォーマンスが大幅に低下します。
- AutoPeak 統合アルゴリズムを使用する場合、ユーザーは特定の Results Table 内のコンポーネントのコンテキストで計算されたすべてのパラメータを考慮する必要があります。ソフトウェアは各コンポーネントの AutoPeak モデルを作成し、このモデルはコンポーネントのすべてのサンプルに使用されます。AutoPeak Asymmetry の計算パラメータは、コンポーネントの AutoPeak モデルのスキューに対する特定のスキューの比率を示します。(BLT-2030)
- データを Watson LIMS に転送する場合、ユーザーは転送が成功するまで待ってから SCIEX OS の **Confirm** をクリックする必要があります。転送が完了する前に **Confirm** をクリックすると、転送のステータスが `Failed` と表示されます。
- 処理メソッドの Integration ページの **XIC width** のデフォルト値は 0.02 です。名目質量データの処理では、ライブラリ検索の質を最大限に高めるために、0.1 以上の値を推奨します。(MQ-7810)
- 計測器設定を Analyst ソフトウェアから SCIEX OS 2.2 に転送するときは、SCIEX OS 2.2 インストールパッケージに含まれている計測器設定コンバーターを使用してください。
- メソッドを変換するときは、SCIEX OS 2.2 インストールパッケージに含まれているバージョンの SCIEX OS to Analyst Software Method Converter を使用してください。

一般的な問題

問題	注意事項
MS Tune ワークスペースまたはガイド付き MRM を使用する MS Method ワークスペースでチューニング中に作成されたレポート（xps）ファイルを開くことはできません。Windows は、このタイプのファイルを開くことができないと報告しています。	この問題は、Microsoft XPS ビューアがコンピュータにインストールされていない場合に発生します。ビューアは SCIEX OS インストール パッケージに含まれています。インストールするには、次の手順に従います。 1. 管理者としてコマンドプロンプトを実行します: a. Windows タスクバーの **Type here to search** フィールドに **cmd** と入力します。 b. **Command Prompt** を右クリックし、**Run as administrator** をクリックします。 2. Administrator: Command Prompt ウィンドウで、次のコマンドを入力し、**Enter** を押します。 **dism /online /norestart /add-package /packagepath:"C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Microsoft-Windows-Xps-Xps-Viewer-Opt-Package~31bf3856ad364e35~amd64~~.cab"** **注:** コマンド全体を 1 行で入力します。 XPS ビューアがインストールされると、進捗バーバーが表示されます。 3. インストールが完了したら、Command Prompt を閉じます。
（SCIEX 7500 システム）長いファイルパス（129 文字以上）のデータは、Analyst 1.7.2 または Analyst 1.6.3 ソフトウェアと HotFix5 を使用して処理することはできません。さらに、このようなデータファイルのファイル情報は、Analyst 1.7.2 または HotFix5 を使用する Analyst 1.6.3 ソフトウェアでは完全に表示できません。(BLT-2246/AN-2250)	この問題を回避するには、SCIEX OS の Analytics ワークスペースを使用してデータを処理するか、ファイルパスを短くしてください。

問題	注意事項
ヘルプのコンテンツペインが空白になっています。(BLT-2497)	ヘルプ ファイルがブロックされています。この問題を解決するには、次の手順に従います。 1. フォルダ `C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Documentation` の中にある Help ファイルを参照し、右クリックして、**Properties** をクリックします。 2. Properties ダイアログで、**Unblock** を選択します。 3. **OK** をクリックします。 **注:** Properties ダイアログにこのチェックボックスがない場合は、ヘルプファイルがブロックされません。

機器に関する問題

問題	注意事項
1 つ、2 つ、または 3 つの洗浄溶剤を選択した場合、洗浄は行われません。(BLT-1212)	4 つ目の洗浄溶剤を追加し、各洗浄液の量を減らして、洗浄時間を短縮します。
シリンジポンプの **Direct device control** ボタンが有効でないため、質量分析装置がスタンバイ状態の場合、ユーザーはシリンジポンプを始動できません。(BLT-2698)	データ取得またはチューニング手順を開始するには、**Direct device control** ボタンを有効にします。
次のエラーメッセージが表示されます:「`wiff` ファイルの `LC` データの書き込みに失敗しました。」(BLT-2960)	エラーメッセージは、次の条件下で表示される可能性があります。 • LC メソッドが検出器なしで構成されている場合、メッセージは無視できます。 • LC メソッドが検出器で構成されている場合、このメッセージは、サンプルの LC データの取得に問題があることを示しています。
CDS などの機器に障害が発生しても、右ステータスパネルの **Standby** ボタンがアクティブにならないため、ユーザーがエラーをクリアできなくなる。(MSCS-1314)	この問題が発生した場合は、Direct Control で **Start** をクリックして、CDS の状態を Fault から Running に変更し、CDS の故障状態をオフにします。

問題	注意事項
LC システムの Device Details ダイアログに情報がない。(ON-2069)	この問題は、Windows のリージョン設定が **English (United States)**以外の形式に設定されている場合に発生します。このエラーを回避するには、ドキュメント『*Software Installation Guide*』の指示に従って Windows を構成します。
リモートデスクトップアプリケーションを使用して測定用コンピュータにアクセスすると、次の問題が発生する可能性があります。 • LC Method ワークスペースでは、一部のパラメータが表示されません。 • LC システムの Detailed Status ダイアログで、一部の LC パラメータが表示されない。 (ONYX-7153/ONYX-8185)	この問題は、ユーザーが測定用コンピュータからログオフせずにリモートデスクトップセッションを切断して再接続した場合に発生します。この問題を回避するには、次のいずれかの方法を使用します。 • 測定用コンピュータからログオフしてから、再度ログオンします。 • リモートデスクトップアプリケーションでフルスクリーンモードを使用します。 • 測定用コンピュータの分解能を修正します。 • 測定用コンピュータで詳細ステータスを直接表示します。
SCIEX OS は、チューニング中に外部シリンジポンプを自動的に開始および停止しない。(ONYX-8459)	チューニング手順を開始する前に、シリンジポンプを手動で開始します。
溶媒レベルパネルでパラメータを変更した後、ステータスが更新されるまで 5 秒待ってから、追加の変更を行います。(ONYX-9093)	該当なし
(Waters LC) Explorer ワークスペースに表示される Sample Information に LC デバイスのプロパティとメソッド情報がありません。(ONYX-11604)	該当なし

Agilent LC システムの問題

問題	注意事項
オートサンプラーではハイスループット設定はサポートされていません。(ACQ-529)	ハイスループット設定は現在サポートされていません。
LC グラジエントグリッドの流量をコピーすると、小数点記号としてのコンマが無視されます。(ACQ-2191)	これは Agilent LC の問題です。この問題を回避するには、手動で流量を入力し、コンマを小数点記号として使用してください。
機器が有効化の最中に Fault 状態になっても、その故障状態が正しく反映されません。(ACQ-2195)	この問題を回避するには、機器の障害をクリアし、Agilent 機器を一度無効化してから再度有効化します。

問題	注意事項
Agilent G7121B 1260 Infinity II FLD スペクトルモジュールからのリアルタイム DAD データは、spectrum モードが Apex または All in Peak に設定されている場合は記録されない。(ONYX-4998)	Apex および All in Peak スペクトルモードはサポートされていません。別のモードを使用してください。
信号 A 励起がゼロオーダーに設定され、光電子増倍管（PMT）ゲインが 6 より大きい値に設定されている場合、Agilent G7121B 1260 Infinity II FLD スペクトルモジュールが使用されているとき、システムは読み込み中または平衡状態のままである。(ONYX-4999)	信号 A 励起がゼロオーダーに設定されている場合、PMT ゲインを 6 以下に設定します。

ExionLC 2.0 システムの問題

問題	注意事項
Plate Layout ウィンドウが開いているときに Batch ワークスペースで **Rack Type** を変更すると、Plate Layout ウィンドウで **Rack Type** が更新されません。(ONYX-8760)	Batch ワークスペースで Plate Layout ダイアログが開いているときにユーザーがバッチグリッドで **Rack Type** を変更すると、Plate Layout のバイアルレイアウトの視覚的表現は更新されますが、**Rack Type** フィールドは更新されません。ただし、**Rack Type** および **Vial Position** を含むバッチ内のすべての情報は正しいです。この問題を回避するには、バッチグリッドで **Rack Type** を変更する前に、Plate Layout ダイアログで **Rack Type** を変更するか、Plate Layout ダイアログを閉じてください。
Device Details ダイアログの複数のインスタンスを同時に開くことができます。(ONYX-9049)	デバイス構成を変更したときに[Device Details]ダイアログが開いていると、新しい構成で[Device Details]ダイアログの別のインスタンスを開いた後でも、古い構成の[Device Details]ダイアログが開いたままになります。この問題は、使用方法に影響を及ぼしませんただし、混乱を避けるために、デバイス構成を変更する前に、開いている Device Details ダイアログをすべて閉じてください。

ExionLC AC、ExionLC AD、および Shimadzu LC システムの問題

問題	注意事項
カラムが設定温度に達する前に注入を開始する。	カラムオーブンの **WAIT TIME** が手動で 0 に設定されている場合は、システムを平衡化し、カラムオーブンが設定温度に達してから 10～15 分待ってからサンプルを提出するようにしてください。または、**WAIT TIME** を 1 から 10 までの任意の整数に等しい値に設定してから、LC メソッドで **Wait for temperature equilibration before run** を選択します。このオプションを選択すると、カラムオーブンが設定温度に達した後、ソフトウェアは **WAIT TIME** で指定された時間待機してから注入を開始します。
PDA 検出器を備えたハードウェアプロファイルが有効化されると、LC メソッドの検出器のデフォルトは、新しく作成された LC メソッドと、同じ LC で以前に作成されたが PDA 検出器が有効化されていないオープン LC メソッドとで異なります。 (ACQ-2176)	問題の発生を回避するには、PDA 機器に正しいパラメータが使用されていることを確認してください。
スタンバイ状態になった後、またはシステムが停止した後、最後の平衡化手順または LC メソッドで設定された温度に戻ります。(BLT-2300)	該当なし
（Shimadzu LC-40 システム）自動的に入力される LC メソッドのフィールドの内容は、レポートに出力されません。 (BLT-2850)	自動的に入力された内容を、値を入力して置き換えます。
Nexera Mikros LC ポンプは、最大圧力限界に達しても故障状態にはなりません。 (ONYX-7794)	該当なし
Nexera Mikros LC ポンプは、デバイス構成で LC-20AB ポンプとして誤って識別される。(ONYX-8030)	LC システムのパフォーマンスは影響を受けませんが、ポンプはデータファイル、ログ、および監査証跡で誤って識別されます。
（Shimadzu LC-40）Plate Layout ダイアログで、ユーザーが複数のプレートでラックタイプを構成している場合、プレートの構成を終了して次のプレートを選択すると、構成されたプレートの名前が **<Unassigned>**に変わります。 (ONYX-8441)	バッチを保存して再度開き、Plate Layout ダイアログにプレート名を正しく表示します。

問題	注意事項
（Shimadzu LC-20 システム）カラムが設定温度に達する前に平衡化が停止します。(ONYX-14932)	該当なし

取得における問題

問題	注意事項
Standby を選択すると、Harvard シリンジポンプが故障状態になります。 (ACQ-2193)	この問題を回避し、エラーをクリアするには、Direct Control 機能を使用してシリンジを起動します。
(X500 QTOF システムと ZenoTOF 7600 システム) *Scheduled* MRM^{HR} メソッドの場合、質量表の列が印刷されない。 (ACQ-2611)	以下を実行すると、UI に表示された列の一部がメソッドのプリントアウトに表示されません。 1. MRM HR メソッドを作成する。 2. スキャンスケジュールを適用する。 3. 拡張パラメータを選択して表示する。 4. メソッドを保存してから印刷する。 この問題を回避するには、Letter サイズより大きい用紙サイズを選択します。
（X500 QTOF システム）手動チューニングでは、キャリブレーションサンプルなし（つまり、CDS または LC 自動キャリブレーションなし）でバッチを送信すると、手動の MS メソッド取得によるイオンが最初のサンプルとバッチ内にある後続のすべてのサンプルのサンプル間 DBC 参照リストとして使用される。手動取得に使用した MS Method とバッチで送信した MS Method の間で質量範囲、極性などに不一致がある場合は、バッチ内にあるすべてのサンプルの質量精度ドリフトにより、サンプル間キャリブレーションが失敗する。 (ACQ-2834)	次のいずれの方法でも問題を回避できます。 • MS Method ワークスペースで手動取得を完了してから、キャリブレーションサンプルなしでバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは予測どおり機能します。バッチ内の最初のサンプルは、後続のサンプルをキャリブレーションする参照リストを生成するために使用されます。 • 手動取得中にキャリブレーションサンプルを使用してバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは質量精度ドリフトが観察されずに予測どおり機能します。
測定メソッドおよび処理メソッドからのインポート中に一貫性のない動作が発生し、そのために信頼性の低い評価結果が生成される。(BLT-284)	測定メソッドからインポートされる情報は、小数第 2 位までの質量精度で示されます。処理メソッドの質量精度の計算に使用される式では、小数第 4 位までの結果が生成されます。そのため、この 2 つのメソッドからは一貫性のない結果が提示されることがあります。

問題	注意事項
DAD パネルのリアルタイム更新が、メソッドで選択された応答時間よりも遅いことがある。(DS-853)	この問題を回避するには、DAD 取得の頻度を下げるか、取得の完了後にデータを点検します。
リアルタイムの UV データ収集中に、XWC グラフと TWC グラフの間でピークのラベル表示が一致しない。(DS-1262)	問題を回避するには、Explorer ワークスペースを使用して取得後のデータを検査します。
(SCIEX 7500 システム) MRM サーベイスキャンを使用した IDA 実験が、sMRM トリガーが適用された *Scheduled* MRM アルゴリズムを使用する別の実験とループする場合、IDA 基準の **Intensity threshold exceeds** フィールドで指定されたトリガーしきい値は、MRM サーベイスキャンの候補質量に適用されない。(MSCS-2283)	• ループされた *Scheduled* MRM アルゴリズムの実験で sMRM トリガーをオフにします。IDA 強度しきい値は、MRM サーベイスキャンの候補質量に適用されます。 • MRM サーベイスキャンを変更して、代わりに *Scheduled* MRM を使用するようにし、目的の化合物の保持時間を 0 に設定します。IDA 強度しきい値は、サーベイスキャンの候補質量に適用されます。
(ZenoTOF 7600 システム) EAD フラグメンテーションモードでは、データは取得されません。(MSCS-2527)	EAD フラグメンテーションを使用する場合は、蓄積時間が反応時間の 3 倍以上である必要があります。使用しない場合は、データが取得できません。この問題を解決するには、蓄積時間を増やします。
(X500 QTOF および ZenoTOF 7600 システム) 質量不一致 IDA 基準で、負質量不一致値が正しくない記号で表示される。(MSCS-2537)	アルゴリズムは正しいプレカーサーを選択するため、取得されたデータは正しいです。
(ZenoTOF 7600 システム)SCIEX OS バージョン 2.1.6 以前で取得された wiff データファイルは、それ以降のバージョンのソフトウェアで開いたときに、グラフタイトルに誤ったフラグメンテーションモードを表示する場合があります。(MSCS-2945)	この問題は、MRM^{HR} または *Scheduled* MRM^{HR} 混合フラグメンテーションモード(EAD/CID)のアルゴリズムメソッドを使用する wiff データファイルで発生します。
IDA 測定時に潜在的延長時間がランダムサイクルに追加される。(ONYX-1764)	問題を回避するには、IDA を実行する前に、Google 更新サービス(gupdate と gupdatem)(システムにある場合)および、Windows バックアップが無効になっていることを確認します。
バッチを PDF に印刷すると、列見出しまたは本文セルのいずれかの数値がドキュメントから欠落しています。(ONYX-2236)	該当なし

問題	注意事項
Excel スプレッドシートなどのファイルから行をコピーしてから、Batch ワークスペースのグリッドに貼り付けると、一部のコンポーネントがグリッドに追加されない。(ONYX-6068)	不足しているコンポーネントを手動でバッチに追加します。
Batch ワークスペースの既存の行に行を貼り付けると、コンテンツが正しく貼り付けられない。(ONYX-6083)	この問題を回避するには、既存の行の上に貼り付けるのではなく、空の行を挿入してその中に新しい内容を貼り付けます。次に、既存の行を削除します。
`Acquisition Methods` フォルダに破損した MS Method が含まれている場合、Batch ワークスペースの **MS Method** 列で選択できる MS Method がない。(ONYX-6795)	MS Method のリストが空の場合は、破損したメソッドを見つけて削除します。
オプション **Stop after the current tasks are completed** でキューを停止すると、取得は完了しますが、処理は開始されない。(ONYX-6802)	該当なし
Queue ワークスペースでは、決定ルール処理の結果として再注入されたサンプルは、元のサンプルに関連付けられた処理メソッドの名前ではなく、**Processing Method** 列に ***Embedded Method**と表示される。(ONYX-6896)	最初のサンプルが処理されると、結果ファイルが作成され、**Processing Method** 列で指定された処理メソッドが新しい結果ファイルに埋め込まれます。したがって、再注入されたサンプルに指定された埋め込み方法は、最初のサンプルに指定された処理メソッドと同じです。
IDA データの取得中に測定用コンピュータが Windows リモートデスクトップで制御されている場合、取得パフォーマンスが低下し、データポイントが失われる可能性がある。(ONYX-7491)	IDA データの取得中は、リモートデスクトップを使用して測定用コンピュータを制御しないでください。
SCIEX OS で取得した wiff データを Analyst ソフトウェアで開くと、Analyst ソフトウェアの **MRM detection window** が SCIEX OS の **Retention time tolerance** と一致しません。(ONYX-7602)	**Retention time tolerance** 値は、**MRM window** の計算に使用されます。この値は、検出ウィンドウのデフォルト値を示す **MRM detection window** と同じではありません。
現在開いている PDF ファイルにメソッドを印刷しようとすると、エラーが発生します。(ONYX-7813)	メソッドを印刷する前に PDF ファイルを閉じるか、別のファイル名で保存してください。

問題	注意事項
(QTRAP システム)負極性の MS^3 実験では、AF2 のデフォルト値は設定できない。(ONYX-8041)	負極性で MS^3 実験の AF2 にデフォルト値を設定した場合、デフォルト値は保存されません。 AF2 のデフォルト値を負極性で保存するには、最初に、負極性に必要な AF2 値で正極性を構成します。その後、負極性に変更し、デフォルト値を保存します。
Scheduled MRM アルゴリズムを使用する MS メソッドは、無効なメソッド期間で保存できる。(ONXY-8443)	スキャン時間が長すぎると、**Duration***Scheduled* MRM が無効になる場合があります。メソッドを保存しようとすると、エラーメッセージが表示され、**Duration** フィールドにエラーアイコンが含まれます。有効なメソッドの期間を指定し、期間を不正なメソッドの期間に戻してからメソッドを保存すると、メソッドは正常に保存されます。 メソッドを保存する前に、正しいメソッド期間を決定してください。
(ZenoTOF 7600 システム) PeakView ソフトウェアのサンプルの PeakView に表示されるサイクル数とサイクル時間は、*Scheduled* MRM^{HR} アルゴリズムで取得された wiff ファイルに対して正しくありません。(ONYX-10623)	該当なし
(ZenoTOF 7600 システム) wiff ファイル内のサンプルの TOF 質量キャリブレーションパラメータが wiff2 ファイル内のパラメータと一致しません。(ONYX-11356)	キャリブレーションパラメータは、Analyst TF ソフトウェアと SCIEX OS によって異なる方法で記録されます。wiff ファイルは、Analyst TF ソフトウェアモデルに従います。
(X500 QTOF システムと ZenoTOF 7600 システム)複雑なスキャン、IDA、SWATH、MRMHR でループ実験を作成すると、実験のスケジュールを指定していないにもかかわらず、ループ実験がスケジュールされた実験として表示されます。(ONYX-11359)	1. メソッドを保存して閉じます。 2. メソッドを開きます。 3. [Advanced]タブで **Experiment scheduling** をクリアします。 ループ実験は予定外として表示されます。
(X500 QTOF システムと ZenoTOF 7600 システム)ユーザーは整数以外の値を **For** の **Exclude former candidate ions** フィールドに入力できます。(ONYX-11383)	メソッドを保存して再度開くと、整数以外の値は「0」に置き換えられますが、整数以外の値を考慮した上で正しくデータを取得しています。

問題	注意事項
（SCIEX Triple Quad7500 システム）ユーザーは、Analyst ソフトウェアで QTRAP システム用に作成されたメソッドを、QTRAP ライセンスを持たないシステムで使用するために変換できます。(ONYX-14104)	該当なし
Guided MRM > **MRM Infusion** では、ユーザーが **Start** をクリックすると、Set Initial Conditions ページのソースパラメータとガスパラメータがデフォルト値に戻ります。(ONYX-15218)	パラメータを再設定します。
Q1-IDA ループ実験では、設定時間を 15 ミリ秒に設定することはできません。(ONYX-15511)	該当なし
(ZenoTOF 7600 システム) MS Method のワークスペースでは、MRM^{HR} 実験のために最大 2500 のトランジションを定義することができますが、その結果、取得に時間がかかることがあります。(ONYX-16282)	*Scheduled* MRM^{HR} 実験では、最大 548 の同時トランジションを定義できます。
ユーザーが手動で追加したコンポーネントを含むバッチを開くかインポートすると、標準または QC ではないサンプルの手動で追加されたコンポーネントが失われる可能性があります。（ONYX-16474、ONYX-16466、ONYX-16467）	手動でコンポーネントを追加したバッチを開いたり、インポートしたりした後は、すべてのコンポーネントが存在していることを慎重に確認してください。
(ZenoTOF 7600 システム) **Zeno threshold** パラメータは、それが適用されない実験およびフラグメントタイプに対して有効です。(ONYX-16556)	**Zeno threshold** パラメータは、EAD と CID の両方のフラグメンテーションを伴う IDA 実験、および CID のフラグメンテーションのみを伴う MRMHR と MSMS の実験に使用されます。ただし、**Zeno threshold** フィールドは、EAD と CID の両方のフラグメンテーションについて、すべての実験タイプで有効になります。このパラメータは、EAD フラグメンテーションを使用した MRM HR および MSMS 実験のサンプル情報にも示されています。 MRM^{HR} 実験の場合、Zeno しきい値フィールド名が正しくありません。**Zeno threshold (CID)**である必要があります。
ユーザーが有効なメソッドを閉じると、隣接するメソッドは有効になりません。(ONYX-16704)	どのメソッドも有効ではないため、**Start** ボタンなどのコントロールも有効ではありません。メソッドを選択して有効にします。

問題	注意事項
ユーザーが複数のガイド付き MS3 注入メソッドを作成する場合、メソッドの名前は同じです。(ONYX-16740)	メソッドの名前は同じであるため、**Views** メニューにはそのうちの 1 つしかありません。 この問題を解決するには、メソッドの 1 つを新しい名前で保存します: **Save** > **Save as**。

Echo MS システム問題

問題	注意事項
Plate Layout ダイアログでエントリを削除しても、行は Batch ワークスペースから削除されず、一部のフィールドが残ります。	行を削除するには、行を選択して右クリックし、**Delete Rows** をクリックします。
連続するバッチが同じデータファイルにデータを保存すると、ピークスプリットが失敗し、自動処理が失敗します。 (ONYX-6904)	ピークスプリットは、データが取得された後に実行されます。前の取得中にファイルに書き込まれたピークをシステムが分割している間に、後続のバッチがデータをファイルに取得している場合、リソースの競合が発生します。この問題を回避するには、各バッチのデータを個別のデータファイルに書き込みます。
以下の制限が適用されます。 • Echo MS システムの使用時に決定ルールが正しく機能しません。 • Echo MS システムを使用する構成では LC システムを使用できません。 • Echo MS システムが設定されている場合、MS Tune ワークスペースを使用できません。 (ONYX-10636)	• Echo MS システムが SCIEX OS で設定されている場合は、決定ルールを使用しないでください。 • Echo MS システムがアクティブな時は、LC システムをアクティブにしないでください。 • Echo MS システムがアクティブな時は、MS Tune ワークスペースでチューニングを行わないでください。 SCIEX 6500+システムのチューニングは、IonDrive Turbo V イオン源および関連付けられたプローブを使用して実行されます。

問題	注意事項
ユーザーが[プレートレイアウト]ダイアログを使用して Batch ワークスペースに **Well Positions** を入力すると、**Well Positions** が入力されない場合があります。この問題は、次の条件下で発生する可能性があります。 • ユーザーが SCIEX OS を開いた後で Batch ワークスペースを初めて開く時。 • ユーザーが空のバッチで **Well Positions** にデータを入力しようとした時。 (ONYX-12525)	問題が発生した場合は、次のいずれかの操作を行います。 • ソフトウェアを閉じてから再度開きます。 • 保存したバッチを開き、Plate Layout ダイアログを使用して、そのバッチの **Well Positions** を更新します。
ユーザーが **Remove All**Plate Layout ダイアログでをクリックすると、ソフトウェアの応答が非常に遅くなります。 (ONYX-12726)	パフォーマンスを改善するには、Batch ワークスペースグリッド内のウェルを削除します。グリッド内のウェルを選択し、右クリックして **Cut** を選択します。
(Echo MS システム)取得中に移動相の低警告がトリガーされると、取得は失敗します。(OPP-288)	測定を開始する前に、移動相ボトルに、計画した取得を完了するのに十分な移動相が含まれていることを確認してください。
(Echo MS システム)ユーザーが Plate Layout ダイアログを使用してサンプルウェルを Batch ワークスペース内のグリッドに追加しようとすると、選択したウェルを追加できません。(OPP-365)	ターゲット内の別の列を選択し、もう一度試してください。
(Echo MS システム) **Est. Start Time**Queue ワークスペース内のは、AE サンプルについては更新されません。 (OPP-421)	ユーザーインターフェースのみの問題です。システムの機能は影響を受けません

Analytics ワークスペースの問題

問題	注意事項
プロジェクトのルートディレクトリにある Results Tables は開かない。	このエラーは、プロジェクトのルートディレクトリが Analyst ソフトウェアのルートディレクトリとして使用されている場合に発生します。Analyst ソフトウェアは、ルートディレクトリの Default/Project Information フォルダに次のファイルを 1 つ以上作成します。 • ProjectSettings.atd • Default Audit Map.cam • Project.atd これらのファイルが Project Information フォルダに存在する場合は、削除します。
両方の画像要素を含むカスタムテンプレートとクエリを使用して csv レポートを作成した後は、Results Table からレポートを作成できません。(BLT-1507)	問題を回避するには、サポートされているテンプレートの 1 つを使用してください。*『ソフトウェアユーザーガイド』*のドキュメントを参照してください。
別のコンピュータで実行されている Analyst ソフトウェアがネットワークを介してそのファイルへのデータを取得しているときに、ネットワーク上の場所で wiff ファイルを処理すると、SCIEX OS が応答しなくなります。(BLT-2873)	SCIEX OS はこのワークフローをサポートしていません。
Analyst ソフトウェアデータでは、LIT スキャンにおいて Q3 分解能が最大として報告される。(DS-2220)	Analyst ソフトウェアの Explore モードでデータを開きます。
csv レポートは、グラフィックやロゴをサポートしていない。(MQ-1361)	csv レポートは、図が含まれない場合のみサポートされます。
Positive Hit template を使用して 2,500 行を超える Results Table から保護された PDF レポートを作成するために PDFactory を使用すると、ソフトウェアが応答しないように見える。(MQ-1896)	レポートの作成には、ある程度時間がかかります。PDFactory の進行状況ウィンドウは常にバックグラウンドで表示され、PDF の作成が進行中であることを示します。PDFactory の進行状況ウィンドウを表示させるために、SCIEX OS を含むすべてのウィンドウを最小化できます。
Method Editor で IS 名をコンポーネントテーブルに貼り付けることができない。(MQ-2193)	問題を回避するには、IS 名を手動で選択するか、IS 列を個別に貼り付けます。
UV、DAD、ADC データ上で AutoPeak 積分アルゴリズムを使用した場合、処理前にモデルが構築するのに長い時間がかかる。(MQ-4421)	ピーク形状が良くない UV/DAD/ADC データに対しては、AutoPeak 積分アルゴリズムを使用しないでください。

問題	注意事項
Mass Reconstruction ワークフローでは、Results Table に報告された信号対雑音（S/N）値が、再構成されたピークに対して正しく計算されない。(MQ-7073)	S/N を計算するには、Explorer ワークスペースで平均 *m/z* スペクトルを開き、手動で再構成を行い、ターゲットピークの S/N を計算します。 **注:** この回避策には Biotool Kit のライセンスが必要です。 1. Peak Review ペインで平均スペクトルを選択します。 2. **Open data exploration**（）をクリックします。 3. **Bio Tool Kit** > **Reconstruct Protein** をクリックし、分解能値を入力し、再構成パラメータを指定して、再構成を実行します。 4. S/N を手動で計算します。*『ソフトウェアユーザーガイド』*のドキュメントの『グラフ選択情報の表示』を参照してください。
計算列の名前を関数名と同じにすることはできません。(MQ-8087)	関数名と一致しない名前を付けてください。
Statistics ペインに表示される **Percent CV** は、**GETSTAT** 関数で計算されたパーセント CV とは異なります。(MQ-8211)	**GETSTAT** 関数は **Actual Concentration** 値を使用して複製を識別しますが、Statistics ペインはユーザー指定の **Number format** が適用された後に **Actual Concentration** 値を使用します。たとえば、**Number format** が 0.00 に設定されている場合、5.001 の濃度は Statistics ペインで 5.00 として扱われます。
ソフトウェアは、**Outlier Reasons** 列または **Outlier Reasons** 列に基づく計算列に基づくフラグ設定ルールをサポートしていません。(MQ-8295/MQ-8381)	**Outlier Reasons** 列を使用するフラグ設定ルールを作成しないでください。
カスタムの式に基づいて列にメトリックプロットを適用した場合、式の入力を変更してもすぐには Metric Plot に反映されません。(MQ-8524)	メトリックプロットを更新するには、Results Table で別のコンポーネントを選択した後、元のコンポーネントを再度選択します。
Acquisition Date & Time 列が式で正しく処理されません。(MQ-8662)	式で **Acquisition Date & Time** 列を使用しないでください。
数式エディタは、式の中でアンパサンド(&)とバー(|)が正しく使われていなくても、それを識別しません。(MQ-8837)	ブール値の AND を表すには、"&&"を使用します。ブール値の OR を表すには、"||"を使用します。

問題	注意事項
Calibration Curve ペインで **Log-log plot** が選択されていない場合、キャリブレーションカーブレポートのキャリブレーションカーブは両対数プロット形式になります。(MQ-9424)	Results Table を閉じ、開いてからレポートを再度作成します。
データを LIMS からカスタム列のある Results Table にインポートすることはできません。また、データをカスタム列のある Results Table から LIMS にエクスポートすることもできません。(ONYX-15730)	該当なし
ChemSpider データベースにはプロキシサーバーからアクセスできません。(PV-632)	該当なし

Explorer ワークスペースの問題

問題	注意事項
ユーザーが多数の *Scheduled* MRM^{HR} アルゴリズムトランジション（最大 2500 トランジション）を取得すると、リアルタイムのデータ収集中に短い遅延が観察される場合があります。(Onyx-17742)	他のデータファイルの問題を回避するには、以下の手順に従います。 • 現在のサンプルのリアルタイムデータを見るために、データ探査を開かないでください。 • 1 つのデータファイルにつき、1 つのサンプルしか取得できません。
Explorer ワークスペースで大量のデータまたは複数のデータファイルを処理すると、ユーザーフェイスが応答を停止し、サンプルキューが次のサンプルに移動するまでに遅延が生じることがある。(BLT-719)	この問題が発生した場合は、Explorer ワークスペースで処理が完了するのを待つか、データ収集中に大量のデータを処理しないようにします。
「要求されたアクションを完了できませんでした。データが完全であり、すべてのフィールドに適切な値が含まれていることを確認してください」というエラーが Formula Finder に表示される。(BLT-1423)	このエラーは、選択されたイオンの構造が Formula Finder で予測されたもので、Formula Finder 設定ダイアログの元素組成タブの正イオンのリストに含まれていない場合に発生します。たとえば、*m/z* 1004 のイオンの場合、Formula Finder は（M + NH4）+に一致します。このイオンが検索する陽イオンのリストに含まれていない場合、一致するものが見つからないとエラーが発生します。

問題	注意事項
取得中にユーザーがデータを検索すると、以下の問題が発生する可能性がある。 • スケジュールされたスキャンの XIC および BPC が予定時間より前に生成された場合は、リアルタイムデータが取得後のデータと一致しない。(DS-903) • Explorer ワークスペースで **Move to next** または **Move to previous** を使用して MS 実験を切り替え、リアルタイムで生成された抽出イオンクロマトグラム（XIC）またはベースピーククロマトグラム（BPC）を表示した場合、XIC / BPC ペインには 1 つのポイントのみが表示される。	この問題を回避するには、以下の手順に従います。 • **File** > **Show XIC** をクリックして、必要な実験の XIC を生成します • 取得後の XIC/BPC を生成します。 • XIC ペインを閉じて再度開きます。
Explorer ワークスペースで、Detector Optimization データが正しく表示されない。(DS-1044)	Z 軸（検出器の電圧）のラベルが不正確になっています。問題を回避するには、Detector Optimization Report レポートまたは パネルを使用して、検出器最適化プロセス中に取得されたデータを検査します。
Explorer ワークスペースで、XIC トレースの番号ラベルがまぎらわしい。(PV-1009)	表示されている値は、ピークのセントロイドを表すため、正確です。**Fill Peaks** をクリックすると、ピークがよく見えるようになります。ピークラベルは、対象となるピークの位置に関わらずその最高点に配置されるため、ラベルの位置が不正確なように見える場合がありますが、値は正確です。 この問題が起こる場合は、取得が完了するまで待ってから、データの探索を行ってください。

MS Tune ワークスペース問題

問題	注意事項
(X500 QTOF システム)手動チューニング中、**Save Settings** をクリックしても最適化されたパラメータ値がファイルに保存されない。(ACQ-2519)	手動チューニング中は、最適化されたパラメータ値が保存されません。問題を回避するには、手動チューニングモードでチューニング手順をすべて完了します。
(ZenoTOF 7600 システム) MS Tune ワークスペースでキャリブレーションが完了してから約 5 分以内に質量分析装置の電源を切ると、キャリブレーション設定は失われ、以前に保存されたキャリブレーション設定が復元されます。(MSCS-2627)	チューニング手順を再度実行してください。

問題	注意事項
（SCIEX 4500、5500、5500 +、6500、6500 +、および 7500 システム）MS Tune ワークスペースで、10 Da/s スキャン速度の自動キャリブレーション中に、間違ったアイソトープが選択される場合があります。(TUN-7245)	自動キャリブレーションが完了したら、装置チューニングレポートを確認して、すべての質量に正しいアイソトープが使用されていることを確認します。正極性では、正しい（2 番目）アイソトープが質量 1952 に使用されていることを確認してください。負極性では、正しい（2 番）アイソトープが質量 1979 および 1979 に使用されていることを確認してください。他のすべての質量については、最初のアイソトープが使用されていることを確認してください。
（SCIEX Triple Quad4500、5500、5500 +、6500、および 6500+システム）高分解能モードでは、10 Da/s のスキャン速度のみが調整されます。(TUN-7292)	10 Da/s の分解能オフセットが他のスキャン速度にコピーされます。
ユーザーは、Explorer ワークスペースを開いて、MS Tune ワークスペースで **Advanced Troubleshooting** コマンドを使用して取得したデータを表示することはできません。(ONYX-16557)	該当なし

レポーターの問題

問題	注意事項
PDFactory で生成されたレポートに、メソッド名、サンプル名、サンプル ID、バーコードなどを示す数値が含まれていない（その名前が番号である場合）。(ONYX-2236)	問題を回避するには、PDFactory オプションではなく、XPS オプションを使用して印刷します。
レポートテンプレートから **For Each Sample** タグを削除すると、元に戻すことはできません。(RPT-21)	レポートをもう一度作成してください。

MS FW Updater に関する問題

問題	説明
MS FW Updater ユーティリティが DVD から実行できない。(BLT-597)	質量分析装置のファームウェアを更新するには、FirmwareUpdater フォルダを D:\ドライブにコピーし、その場所からユーティリティを実行します。

SCIEX OS to Analyst Software Method Converter の問題

問題	説明
EMS スキャンを含んでいるメソッドは、SCIEX OS から変換することができない。(ONYX-12112)	この問題は、Method Converter の旧バージョンを使用している場合に発生します。Method Converter は SCIEX OS 2.2 のインストールパッケージに含まれているバージョンを使用してください。
SCIEX OS to Analyst Software Method Converter の後に Analyst ソフトウェアがインストールされている場合、SCIEX OS to Analyst Software Method Converter を Analyst ソフトウェアで開くことはできません。(ONYX-14031)	SCIEX OS to Analyst Software Method Converter の前に Analyst ソフトウェアをインストールします。

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米：NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ：Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外：sciex.com/education

オンライン学習センター

- SCIEX Now Learning Hub

SCIEX サポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守／技術専門要員を世界中に有しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX ウェブサイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX 製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurity を参照してください。

ドキュメント

このバージョンのドキュメントは、以前のすべてのバージョンのドキュメントに優先します。

このドキュメントを電子的に閲覧するには Adobe Acrobat Reader が必要です。最新バージョンをダウンロードするには、https://get.adobe.com/reader にアクセスします。

ソフトウェア製品のドキュメントについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のドキュメントを検索するには、システムまたはコンポーネントに付属の *カスタマーリファレンス* DVD を参照してください。

ドキュメントの最新版は SCIEX の web サイト（sciex.com/customer-documents）で入手できます。

注: このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-us までお問い合わせください。

本書は SCIEX 機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部分を複製することは、SCIEX が書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのため SCIEX により供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEX の保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、また SCIEX の唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEX は、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および / または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および / またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です(sciex.com/trademarks をご覧ください)。

AB Sciex™ はライセンスの下で使用されています。

© 2021 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.

AB Sciex Pte. Ltd.
Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3
Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256